

令和6年度 第1学年入学者選抜 試験問題

学校推薦型選抜

# 小 論 文

## 注 意 事 項

1. 「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を除いて1枚、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。  
「はじめ」の合図があってから確かめなさい。
3. 監督者の指示に従い、解答用紙に受験番号を記入しなさい。ただし、氏名を書いてはいけません。
4. 文字などの印刷に不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に知らせなさい。
5. 解答はすべて解答用紙に横書きで記入しなさい。ただし、「総得点欄」「採点欄」に記入してはいけません。
6. 試験終了後、配付された問題用紙、下書用紙は持ち帰りなさい。

# 問題用紙

## ( 小論文 )

本学の教育目標の一つが指導的技術者の育成です。世界的企業であるプロクター・アンド・ギャンブル社（P & G）が進めるリーダーシップ研修に関する以下の文章を読み、問1と問2に答えなさい。

私は、高校時代と大学時代にバレー部のキャプテンを務めていましたから、みんなを叱咤激励したり、上下関係を徹底したりする一方で、自分を押し殺してチームワークを促し、レギュラーもそうでない部員も平等に扱うことがキャプテンの役目だと信じていました。

P & Gでは、新人社員にもリーダーシップ研修があります。若き日の私は、リーダーシップには多少なりとも自負するところがあったのですが、そのトレーニングを受けて、正直戸惑いました。はっきり言えば、「俺のやり方の方がずっといい」と思ったほどです。しかし、講義を受けているうちに、「俺のリーダーシップはずいぶん幼稚だなあ」と考えさせられました。

P & Gでは、リーダーとはいかなる人物か、どのようなスキルや能力が要求されるのか、具体的に定義されています。そのために、全世界共通のトレーニングが用意されています。

まず、「5 Eモデル」について、ご説明しましょう。

Envision：ビジョンをつくり、これを指し示す

Energize：そのビジョンに、人々をわくわくさせる

Enable：そのビジョンの達成に向けて、人々のスキルや能力を開発する

Engage：上下関係や命令で強制することなく、ビジョンの達成に向けて協力する

Execute：実行して結果を出す

自分だけ頑張ったり、コマンド・アンド・コントロール（命令と統制）によって上意下達にやらせたりするようでは、リーダー失格です。この5 Eモデルが目指すものは、職場やプロジェクトのメンバーを鼓舞し、その持てる能力を引き出し、時には手を差し伸べたりトレーニングを受けさせたりしながら、チーム一丸となって目標達成に導くという、いわゆる「サーバント・リーダーシップ」に近いものです。

（出典：P & G流 世界のどこでも通用する人材の条件 会田秀和 ダイアモンド社）

問1 著者が学生時代に務めたキャプテンとしてのリーダーシップとP & Gの研修で学んだリーダーシップを150字から200字で示しなさい。

問2 上述の「5 Eモデル」で説明されている5つの項目のうち、あなたが強みを持つと思うものを一つ示してください。それが分かる経験やエピソードを記した上で、その強みを大学生活で伸ばすために必要な行動を300字から400字で述べなさい。